

事務事業チェックシート

事務事業No 581 事業名 各種大会及び合宿等誘致事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		保健体育費	
	目		体育振興費	
	大事業		体育振興事業	
事項		各種大会及び合宿等誘致事業		

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	3	生涯スポーツの振興
基本方針	2	スポーツ人口の拡大と競技力の向上

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	IV	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
政策	7	文化・芸術・スポーツの振興
施策	I	スポーツに親しめる環境づくり

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	スポーツ環境の充実			

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市スポーツ推進計画		
担当課・担当課長 (Tel)	スポーツ振興課	小川 直寛	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容				
事業概要	平成27年に和歌山で開催される「紀の国わかやま国体」に向け、市内におけるスポーツ大会、スポーツ合宿などの開催を積極的に誘致することにより、本市のスポーツ振興を促進し、青少年のスポーツへの関心、競技力の向上などを図ることを目的とします。		各種協会、団体等が主催者として小学校の児童、中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者を対象として、本市の区域内で開催するスポーツ大会及びスポーツ合宿において、本市に居住する生徒等及び本市以外の市町村に居住する生徒等のいずれも参加するものなどで、本市区域内の宿泊施設に宿泊するものの延べ人数51人以上（スポーツ合宿については、20人以上）である場合において、宿泊人数に応じて補助金を支出しています。			
	実施内容	平成25年度 各種競技大会及び合宿等の誘致 (参加者数 18,239人)	平成26年度 各種競技大会及び合宿等の誘致 (参加者数 16,811人)	平成27年度 各種競技大会及び合宿等の誘致	平成28年度 平成28年度から、観光課が引き継ぐ	平成29年度

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	8,000	9,114	8,000	9,707	8,000	6,879				
伸び率 (%)	-	-	0.0%		0.0%		-100.0%		-	
人件費	常勤職員	1,847	1,960	1,960	2,245	2,245	2,591			
	非常勤職員									
	小計	1,847	1,960	1,960	2,245	2,245	2,591			
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	8,000	9,114	8,000	9,707	8,000	6,879				
所要人数	常勤職員	0.25	0.26	0.26	0.30	0.30	0.34			
	非常勤職員									
主な予算内訳										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	各種競技大会及び合宿の実施件数				年度目標値	20	20	20	
					実績値	17	17	10	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	85.0%	85.0%	50.0%	
			年度目標値	実績値	年度別達成度				
成果指標	他市町村からの参加者数				年度目標値	18,000	18,000	18,000	
					実績値	15,589	14,333	7,992	
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	86.6%	67.3%	44.4%	
			年度目標値	実績値	年度別達成度				
	単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
			年度目標値	実績値	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○ 見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成27年に実施される「紀の国わかやま国体」に向け、市内におけるスポーツ大会、スポーツ合宿等の開催を積極的に誘致することで、本市のスポーツの振興、青少年のスポーツへの関心、競技力の向上を図ることを目的に実施しており、年々、他府県からスポーツ合宿で訪れる団体が増加傾向にある。
「見直し」「改善」案	27年度事業見直しにより廃止